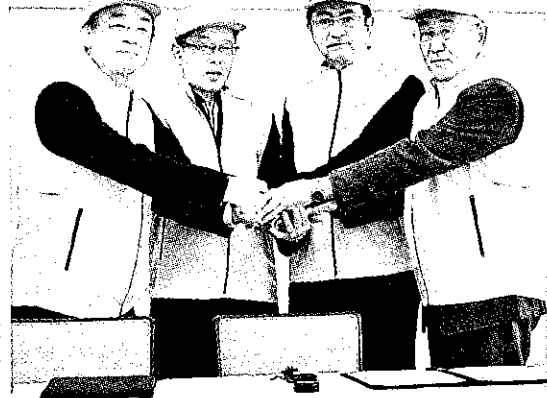


シルバーシティーおびひろ
**災害時は町内会と協力
 個々心援助は締結**

2月12日(日) 午前 9時～



協定締結

災害時用のベストを着て握手をする
 川瀬園長、杉原会長、梶副会長、柿
 田庶務(左から)

帯広市内の介護付き老人ホーム「シルバーシティー十勝おびひろ」(川瀬脩一園長)が十町内会(杉原庸介会長)と「災害活動相互応援協定」を結んだ。12日午前11時から同ホームで締結式が行われた。合同の避難訓練や交流イ

イベントを開催し、入所者の避難援助などでの協力態勢を構築していく。一方、付近住民が同ホームへ避難するケースも想定し、備蓄庫の充実にも取り組む内容。川瀬園長は「地域密着型の施設として協定を結びたかった」と話す。

協定締結は同ホーム開所前の昨年8月ごろから温めてきた計画。災害が発生した際、60人まで増える利用者や、職員だけで避難させることは難しいとの考えから同町内会に打診した。

同町内会にとっても同ホームが災害時の一時避難場所になっていることや、組織的で有効な避難ができることから快諾した。

締結式は利用者の前で行われ、川瀬園長や杉原会長のほか、同町内会の梶敏副会長、柿田正弘庶務らが参加した。杉原会長は「会員

も高齢化が進んでいる。力を合わせて命を守りたい」と話した。(伊藤亮太)